

短 報

炭酸リチウム併用により著効を示した
遷延性うつ病の2例

藤 原 茂 樹 神 庭 重 信
北 村 俊 則 工 藤 孝 行

精 神 医 学

第24巻 第8号 別刷
1982年8月15日 発行

医学書院

短報

炭酸リチウム併用により著効を示した
遷延性うつ病の2例*

藤原茂樹** 神庭重信
北村俊則 工藤孝行

I. はじめに

炭酸リチウムに反応するうつ病の一群がある¹⁻⁷⁾。双極性の場合には三環系抗うつ剤が効きにくく、躁転を防ぐ意味でも炭酸リチウムを第1選択とする意見があり⁸⁾、またうつ病相のみを繰り返す患者で炭酸リチウムによりよく反応する群は、気分の易変動性があり、うつ状態時の食欲亢進、多眠を示す傾向があるという⁹⁾。

さらに三環系抗うつ剤に反応せず遷延するうつ病への炭酸リチウム併用による効果が報告されている^{10,11)}。われわれもまた長期にわたり三環系抗うつ剤を使用しても改善のみられなかったうつ病患者に炭酸リチウムを加え奏効をみた2例を経験したのでここに報告する。

II. 症例

<症例1> 66歳 女性 未亡人 無職

主訴 意欲減退, 自殺念慮

病前性格 まじめ, 責任感強く完全癖

家族歴 母親が入水自殺, 二女がうつ病

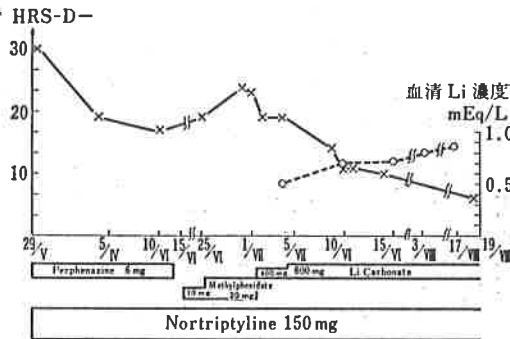
既往歴 特記すべきことなし

現病歴 昭和55年3月, 脳卒中のため左半身麻痺。リハビリテーション中より, 悲哀抑うつ感出現し, 10月11日より3週間慶応病院にて入院加療。退院後2ヵ月間は小康状態であったが, 昭和56年2月より, 体重減少

1982年2月19日受理

* Two Cases of Rapid Relief of Depression by Lithium Carbonate Added to Tricyclic Antidepressants

** 慶応義塾大学医学部精神神経科学教室 (主任: 保崎秀夫教授), Shigeki Fujihara, Shigenobu Kanba, Toshinori Kitamura and Takayuki Kudo: Dept. of Neuropsychiatry, School of Medicine, Keio Gijuku University (Director: Prof. H. Hosaki)



* HRS-D=Hamilton's Rating Scale for Depression

図1 (症例1)

(2ヵ月間で5kg)「癌になったのでは」と気にする。4月, 二女がうつ病(上記)で入院となると意欲減退が目立ち, 一日中ゴロゴロしている。朝起きて何もする気になれない。

このまま寝たきりになってしまうなら, 死んだ方がまし。」と自殺念慮出現し, 昭和56年5月29日再入院となる。

入院経過(図1) 入院時明らかな日内変動を伴う抑うつ感, 精神運動抑制と, 便秘, 体重減少, 口渇等の身体症状を認めた。初回の入院以来半年間 nortriptyline 150mg/日 使用するも精神症状の改善が認められず, perphenazine, methylphenidate が追加されたが効をみず, 7月2日より炭酸リチウム400mg/日が開始された。翌日より不安感の軽減がみられ, 7月6日より日内変動消失, ひき続き身体的不安, 抑うつ感に改善がみられ, 精神運動抑制も消失し, 意欲的となる。8月21日退院後はボランティア活動に参加。

<症例2> 52歳 男性 既婚 会社員

主訴 意欲減退, 絶望感, 自殺念慮

病前性格 何ごとにもきちんとなしと気が済まない。

家族歴 父方の従兄弟および姪に精神病院入院歴あり。

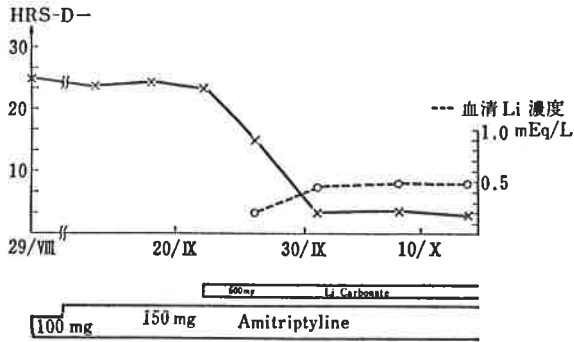


図2 (症例2)

り。姪は25歳で自殺。病名不明。

既往歴 10歳および35歳時肺炎。

現病歴 昭和49年より、職場の責任者として仕事量が増加し、疲労感および体調の変化を認め、翌年抑うつ感、夜間覚醒、寝汗、早朝の気分不快感出現する。社医にうつ病と診断され、以降三環系抗うつ剤の投与を受けるが、56年7月より朝のだるさ、不眠、抑うつ感が増悪し、「もう楽しいことは何もなく、死んでしまいたい。」と自殺念慮出現したため入院となった。

入院経過 (図2) 入院時気分の日内変動、早朝覚醒、著明な抑うつ感、絶望感、自殺念慮、精神運動抑制が認められたが、食欲低下、焦躁感はなかった。amitriptyline を175mg/日まで増量するも改善をみなかったため、炭酸リチウム600mg/日を開始。血清リチウム濃度が0.43 mEq/L に上がったところで日内変動が消失し、抑うつ感の著明な改善がみられ、睡眠障害もなくなった。「この5年間でこんなに気分が良くなった日はありません。」と言うまでに至った。

III. 考察

2症例の共通点として、三環系抗うつ剤で効果を認めなかったこと、家族歴にうつ病あるいは自殺があること、日内変動、身体的症状等内因性うつ病の特徴をもつこと、そして無気力、意欲減退が前景に立っていることが挙げられる。これらは報告されている炭酸リチウム反応性うつ病の特徴¹²⁾に一致している。

症状の改善が急速かつ著明な点は、これが疾病の自然経過というより、炭酸リチウムの何らかの薬理作用を示唆するものであろう。この説明としては、炭酸リチウム独自の抗うつ効果^{3,6)}、三環系抗うつ剤血中濃度上昇作用、脳内受容器への

効果¹¹⁾などが考えられる。いずれにせよ、この2症例にみられた炭酸リチウムの遷延性うつ病への臨床効果は注目に値し、今後の研究が待たれる。

御校閲をいただきました慶応義塾大学医学部精神神経科学教室保崎秀夫教授ならびに伊藤斉助教授に感謝いたします。

文献

- 1) Goodwin, F. K., Murphy D. L., Dunner, D. L. and Bunney, W. E. Jr.: Lithium response in unipolar versus bipolar depression. *Am. J. Psychiat.*, 129; 44, 1972.
- 2) Mendels, J., Secunda, S. K. and Dyson, W. L.: A controlled study of the antidepressant effects of lithium. *Arch. Gen. Psychiat.*, 26; 154, 1972.
- 3) Mendels, J.: Lithium in the treatment of depression. *Am. J. Psychiat.*, 133; 373, 1976.
- 4) Noyes, R. Jr., Dempsey, G. M., Blum, A. and Cavanaugh, G. L.: Lithium treatment of depression. *Compr. Psychiat.*, 15; 187, 1974.
- 5) Johnson, G.: Antidepressant effect of lithium. *Compr. Psychiat.*, 15; 43, 1974.
- 6) Baron, M., Gerson, E. S., Rudy, V., Jonas, W. Z. and Buchsbaum, M.: Lithium carbonate response in depression: prediction by unipolar/bipolar illness, average evoked response, catechol-O-methyl transferase, and family history. *Arch. Gen. Psychiat.*, 32; 1107, 1975.
- 7) 渡辺昌祐, 土井亨, 玉置幸弘, 他: 二重盲検法による炭酸リチウムと Imipramine の抗うつ作用の比較. *精神医学*, 16; 785, 1974.
- 8) Ramsey, T. A. and Mendels, J.: Lithium in the acute treatment of depression. In; Johnson, F. N. (ed): *Handbook of Lithium Therapy*, MTP Press, Lancaster, 1980.
- 9) Kupfer, D. J., Pickar, D., Himmelhoch, J. M. and Detre, T. P.: Are there two types of unipolar depression? *Arch. Gen. Psychiat.*, 32; 866, 1975.
- 10) Lingjaerde, O., Edlund, A. H., Gormsen, C. A. et al.: The effect of lithium carbonate in combination with tricyclic antidepressants in endogenous depression. *Acta Psychiat. Scand.*, 50; 233, 1974.
- 11) Montigny, C., Grunberg, F., Mayyer, A. and Deschenes, J. P.: Lithium induces rapid relief of depression in tricyclic antidepressant drug non-responders. *Brit. J. Psychiat.*, 138; 252, 1981.
- 12) Neubauer, H. and Bermingham, P.: A depressive syndrome responsive to lithium. *J. Nerv. Ment. Dis.*, 163; 276, 1976.